

# やがわ 矢川放水路トンネルの完成

～洪水を直接日本海へ～

信濃川水系矢川（にいがたけんまきまち新潟県巻町、いわむらむら岩室村）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

矢川は、合流河川である西川の河床が高いため、西川への排水が困難であり、日本海へ直接分流する工事が昭和初期から行われていましたが、これまでの放水路では流下能力が十分でなく、昭和53年6月洪水によって17,000haにも及ぶ大きな浸水被害を被りました。本事業では、矢川流域の浸水被害の解消を図るため、トンネル河川による新たな放水路を設置しています。

### 2) 全体計画

事業期間：平成2年度～平成17年度

事業延長：L = 4,346 m

全体計画：トンネル部 L = 4,083 m、開水路部 L = 263 m

## 2. 事業の経緯

平成2年度「広域基幹河川改修事業（大規模）」に採択され、事業に着手。

平成16年度末進捗予定：トンネル部 L = 4,083 m

## 3. 平成17年度の要求内容

放水路トンネル呑口の開水路部 L = 263 mを実施し、事業を完了させます。

昭和53年6月集中豪雨による浸水被害状況写真



トンネル呑口部の状況写真



# おおがた 大潟海岸侵食対策事業の完成

## ～人工リーフによる砂浜復元・波壊防止～

### 大潟海岸（新潟県大潟町）

#### 1. 事業の概要

##### 1) 目的

大潟海岸は、海岸侵食対策事業や昭和55年、平成元年と冬期風浪による大きな被害を受けたことによる災害復旧助成事業で海岸保全施設の整備を行いました。

しかし、その後も越波により消波工や護岸等の被災を受け、海岸保全施設背後に敷設されている天然ガスのパイプラインがむき出しになるなど、侵食傾向が顕著となっていました。

そこで、平成10年から面的防護方式による侵食対策を実施し、沖合に人工リーフの整備を進め、平成17年度に完成させます。

##### 2) 全体計画

事業期間：昭和41年度～平成17年度

事業延長：1,000m（人工リーフ施工区間）

全体計画：消波堤 2,362m、離岸堤 1,746m、人工リーフ 3基

#### 2. 事業の経緯

昭和41年度に侵食対策事業に採択され、事業に着手。

昭和57年度に消波堤、昭和62年度に離岸堤が完成。

平成10年度から人工リーフに着手。

平成17年度に人工リーフを完成させ、事業完了予定。

#### 3. 平成17年度の要求内容

3堤目の人工リーフを完成させ、事業を完了させます。



事業箇所（平成16年3月撮影）



被災状況（平成13年2月撮影）

やま다가わ  
**山田川通常砂防事業の完成**  
～ 緑と水辺の空間確保、快適な生活環境の創造～  
おやべかわ じょうはな  
小矢部川水系山田川（富山県城端町）

1. 事業の概要

1) 目的

小矢部川水系山田川は城端町の市街地を流れる渓流で、渓床・渓岸侵食が著しく、既設護岸の不安定化や、また、河道の断面も不足していたことから、常に土砂流出による洪水被害等の危険にさらされてきました。

沿川には人家が連担しており、人家104戸、国道304号、町道などを保全するため砂防事業として平成5年度から床固工や護岸工の整備に着手しました。

また、城端町の市街地を流れることから、町の顔として、また地域住民に自然環境をいかした憩いと潤いの場を提供するという目的も兼ね、護岸は親水性を配慮し、床固には魚道を設置、利用及び生態系など環境に配慮しています。

2) 事業計画

事業期間：平成5年度～平成17年度

主な工種：渓流保全工1,080m

2. 事業の経緯

平成5年度 通常砂防事業に着手

平成16年度末進捗予定：渓流保全工  
960m

3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、渓流保全工120mを実施し、事業の完成を図ります。



事業着手前



整備後

みずぼうさい  
**直下川水防災対策事業の完成**  
～宅地嵩上げにより地域を洪水から防護～  
だいしょうじがわ そそりがわ  
大聖寺川水系直下川（石川県加賀市）

1. 事業の概要

1) 目的

直下川は、平成10年9月の台風7号による集中豪雨で床上9戸、床下3戸の浸水被害が発生しました。

このため、本事業で護岸と併せて宅地嵩上げを行い、直下地区の浸水の軽減を図るものです。

2) 全体計画

事業期間：平成12年度～平成17年度

事業延長：L = 510 m

全体計画：護岸、嵩上げ擁壁、管理通路、宅地嵩上 12軒、橋梁架替 3橋

2. 事業の経緯

平成12年度：水防災対策事業に採択され、事業着手。

平成16年度末進捗予定：事業延長 L = 410 m完了

3. 平成17年度の要求内容

護岸、嵩上げ擁壁、管理通路、宅地嵩上を実施し、事業を完了させます。



H16.4 撮影 整備状況



# 九谷<sup>くに</sup>ダムの完成

～水の安全、めぐみ、ゆとりを贈る～

## 九谷ダム（石川県<sup>やまなかまち</sup>山中町）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

洪水調節

（ダム地点の基本高水流量 980m<sup>3</sup>/s のうち、940 m<sup>3</sup>/s の洪水調節を行う。）

水道用水の供給

（加賀市、山中町に対し、それぞれ 32,100 m<sup>3</sup>/日、21,400 m<sup>3</sup>/日を供給する。）

発電

（九谷ダムの建設に伴い、新設される新枯渇発電所において、最大出力 3,600kw の発電を行う。）

#### 2) ダム諸元

ダム形式：重力式コンクリートダム

ダム高：75.8m

堤体積：360 千 m<sup>3</sup>

総貯水容量：24,900 千 m<sup>3</sup>

#### 3) 全体事業費

総事業費：約 5 1 0 億円（国費：約 2 0 3 億円）

### 2. 事業の経緯

昭和 45 年度	実施計画調査着手
昭和 48 年度	建設事業着手
平成 8 年度	ダム本体工事契約
平成 15 年度	本体コンクリート打設完了等
平成 16 年度	試験湛水開始
平成 17 年度	完成予定

### 3. 平成 17 年度の要求内容

試験湛水終了に伴い、周辺整備工事等を施工し、ダムを完成させます。

#### 工事状況



左岸より右岸を望む(平成 16 年 4 月 5 日撮影)

#### ダム周辺状況



上流より下流を望む(平成 16 年 4 月 5 日撮影)

# 緑の溪流を再生する浦川溪岸山腹工の完成

## ～急峻な斜面での無人化施工～

(長野県北安曇郡小谷村)

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

浦川流域は、風吹岳、稗田山を水源とする流域面積22km<sup>2</sup>の荒廃河川です。流域内は火山堆積物や来馬層からなる極めて脆弱な地質で、明治44年に大災害を引き起こした「稗田山の大崩壊」があり、過去、幾多の土石流が発生し、多大な被害を与えてきたほか、平成7年7月出水には、大量の土砂を姫川本川に流出させて鉄道、道路や民家に被害をもたらしました。このため、平成14年度より浦川溪岸山腹工に着手し、土砂生産源となっている溪岸斜面の崩壊を防止し、浦川への土砂流出抑制と流路の安定を図るものです。

また、工事箇所は急峻かつ狭隘な河床内であり、斜面崩落、土石流の危険性が大きく非常時における避難が困難な現場であるため斜面での作業は無人化による工法により工事中の安全確保を図ります。

#### 2) 全体計画

事業計画：山腹工A=25,700m<sup>2</sup>、溪岸工L=540m

### 2. 事業の経緯

平成14年度より事業着手し山腹工を実施。

平成16年度末進捗予定 山腹工A=16,670m<sup>2</sup>

溪岸工L=340m



無人機械による施工状況

### 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は引続き山腹工を整備を推進し事業を完成させます。



浦川の溪岸斜面の崩壊状況



緑化後のイメージ図

# 信濃川下流堤防の完成化を推進 ～平成16年7月新潟・福島豪雨洪水への対応～ 信濃川水系信濃川(下流)(新潟県新津市、白根市ほか)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

信濃川下流はその氾濫域に新潟県の主要な都市が存在するため、ひとたび氾濫が起きると甚大な被害が予想されます。しかし、いまだに堤防が低く、昭和53年6月の出水では各地で湛水が生じるなど、まだまだ整備が遅れています。また、平成16年7月の新潟・福島豪雨では支川の五十嵐川や刈谷田川等が破堤し甚大な被害が発生したことから、これら支川の河川改修と連携して信濃川下流堤防の完成化を重点的に実施し、信濃川下流流域の洪水に対する安全度の向上を図ります。

### 2) 全体計画

築堤 約32,000m(両岸)、樋管改築 13基等

## 2. 事業の経緯

平成9年度より、堤防強化対策に着手。

平成15年度より、緊急対策特定区間に位置づけ、重点的に事業を実施しています。

平成16年度末までに約1,400mが完成堤化する予定です。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、新津市大秋地先等において築堤等を推進します。

平成16年7月出水状況



# 大河津可動堰改築を推進

～ 著しく老朽化した施設の改築及び流下能力不足の解消～  
信濃川水系大河津分水路（新潟県西蒲原郡分水町）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰あらいぜきとともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきています。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となっています。

可動堰が倒壊すると、信濃川に水が流れなくなり、越後平野の利水に甚大な被害をもたらすだけでなく、治水上も洪水時の右岸堤の破壊につながり、下流域に甚大な被害をもたらす可能性があるため、可動堰の改築が必要となっています。

### 2) 全体計画

堰本体改築 1式、低水路掘削 3,500千m<sup>3</sup> 等

## 2. 事業の経緯

平成15年度に「特定構造物改築事業」により改築事業に着手しています。平成16年度末までに、河道掘削約170千m<sup>3</sup>を実施する予定です。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は堰下流部の河道掘削を推進するとともに、仮締切工に着手します。





# 魚野川床固工群等の整備推進

～ 観光拠点・重要交通網の保全～

(新潟県魚沼郡湯沢町)

## 1. 事業の目的

### 1) 目的

魚野川は、リゾート開発に伴い溪流沿いにもマンション、フィッシングパーク等が開発され地域の資産価値が高まっている。一方、平成10年9月に発生した出水に伴い、マンションの基礎洗掘やJR線付近の溪岸侵食等の問題が発生しており、魚野川流域は、未だ土砂災害に対して危険が高く、再度災害防止の観点から集中的な整備が求められています。

湯沢町では、毎年観光客が700万人以上訪れており、アクセスとして関越自動車道・JR上越線・国道17号等が整備されている。これらの重要交通網の保全及び湯沢町土樽自然公園計画等と併せ、地域振興を推進する魚野川床固工群の整備を推進します。

また、三俣地区において土石流危険溪流の水無川で水無沢川第3号砂防えん堤を整備し、観光拠点の三俣地区や国道17号の保全を図ります。



H10.9出水被災状況(マンション基礎洗掘)

### 2) 全体計画

事業計画：魚野川床固工群(流路延長5.8km、床固工、帯工、護岸工等)  
水無沢川第3号砂防えん堤1基

## 2. 事業の経緯

平成4年度 魚野川床固工群に着手

平成14年度 水無沢川第3号えん堤に着手

平成16年度未進捗予定 床固工2基、護岸工

## 3. 平成17年度の要求内容

- ・魚野川床固工群 東橋下流護岸工、高水敷疑岩工
- ・水無沢川第3号砂防えん堤の整備を推進します。



魚野川床固工群(土樽地区)



水無沢川第3号砂防えん堤(三俣地区)

じょうがんじがわ  
**常願寺川の急流河川対策を推進**  
 ～急流河川における堤防の質的整備を図る～  
 常願寺川水系常願寺川（富山県<sup>おおやま</sup>大山町）

**1．事業の概要**

1) 目的

常願寺川は日本でも有数の急流河川であり、ひとたび破堤被害が発生すると被害が甚大となることから、急流河川の治水安全度の向上は急務となっています。特に本箇所は扇状地の扇頂部に位置し、仮に本箇所破堤した場合、県都富山市に甚大な被害（最大の被災者及び被害）を与えるため、堤防の腹付盛土により、堤防自体が破壊されないよう「ねばり」をもたせ、堤防の質的整備を図り治水安全度を確保するものです。

2) 全体計画

腹付盛土 600m 等

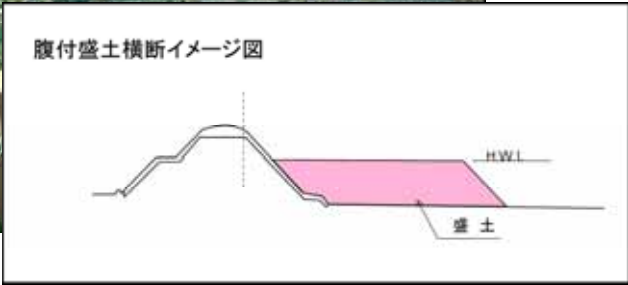
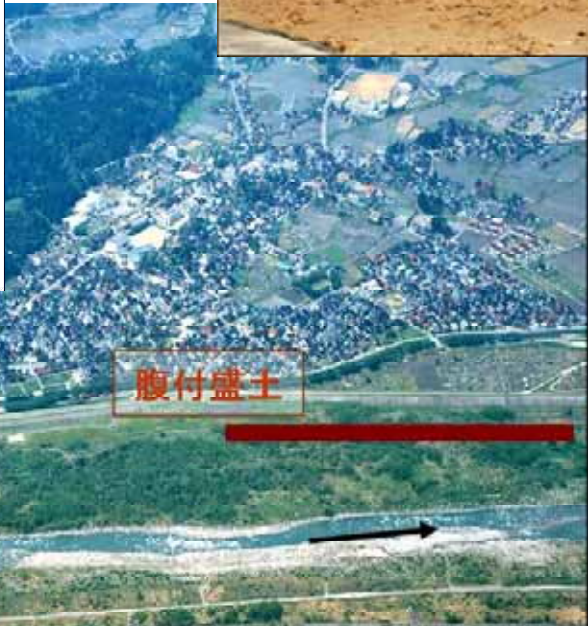
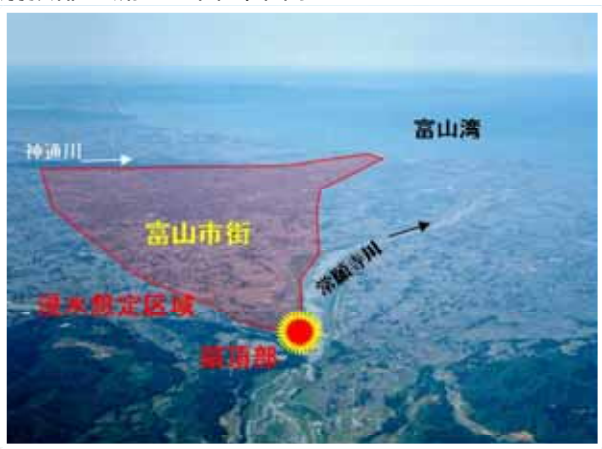
**2．事業の経緯**

平成16年度より急流河川の堤防の質的整備として扇頂部の上滝地区にて腹付盛土に着手。平成16年度末までに実施する予定です。

**3．平成17年度の要求内容**

平成17年度は、腹付盛土を推進します。

扇頂部上流から富山市街を望む



# 富山平野を守る<sup>しらいわ</sup>白岩砂防えん堤の保全対策 (富山県上新川郡大山町・中新川郡立山町)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

立山砂防の基幹えん堤である高さが日本一の白岩砂防えん堤(副ダム7基を含めた高さが108m)は、昭和44年洪水をはじめとする幾多の洪水時に土砂流出を抑制する機能を発揮し、富山平野を土砂災害から守ってきました。しかし、完成後約60年を経過し、右岸山腹の崩壊が著しくなってきたこと、また、現行基準に適合した安全な施設とするため、白岩砂防えん堤保全対策の検討を行い、平成11年度から右岸部斜面岩盤補強対策に工事着手しました。

事業の実施にあたっては、国の登録有形文化財になったこと等に鑑み、砂防えん堤の景観はもとより、周辺環境をも損なうことがないように努めていきます。

### 2) 全体計画

- 保全内容 (1) 右岸岩盤崩落による水通し部閉塞の防止  
(2) 左岸盛土部の安定対策  
(3) 白岩砂防えん堤本体の安定性確保

## 2. 事業の経緯

平成10年度より、建設省(当時)の土木工事としては初の設計・施工一括発注方式(デザイン・ビルド方式)として、右岸部斜面岩盤補強対策に着手しました。

平成14年度 右岸部斜面岩盤補強対策 第1期工事完成

平成15年度 第2期工事に着手

平成16年度末進捗予定 右岸補強対策アンカー工

## 3. 平成17年度の要求内容

右岸部斜面岩盤補強対策の完成を図ります。



白岩砂防えん堤右岸部斜面岩盤補強対策の概要

おおつぽようすいせき  
大坪用水堰改築 本体工事を推進  
～神通川支川井田川の治水安全度向上～  
神通川水系井田川（富山県ねいぐんやつおまち八尾町）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

昭和41年に設置された大坪用水堰（農業用取水堰）は、神通川支川井田川の扇状地の扇頂部に位置し、治水上重要な箇所には設置されていますが、堰高が高く、かつ固定堰のため洪水流下時のネックとなっています。

そのため、流下能力の向上を図ることを目的に可動堰に改築するものです。

改築にあたっては、八尾町で実施する「まちづくり総合支援事業」と連携を図りながら実施しています。

### 2) 全体計画

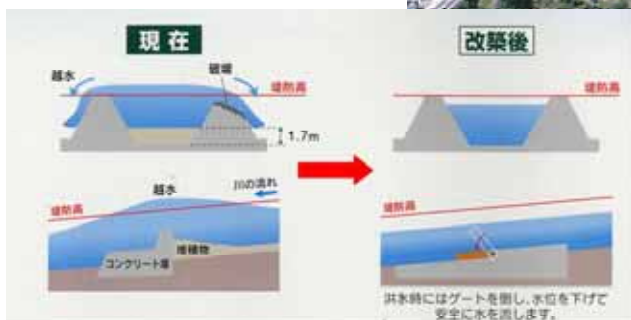
堰改築 1基、築堤護岸 800m 等

## 2. 事業の経緯

平成14年度に「特定構造物改築事業」に採択され、改築事業に着手し、平成15年度より堰本体工、平成16年度は引き続き堰本体工、ゲート、護岸を推進します。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、引き続き堰本体工及びゲート製作等を推進します。



くろせ  
**黒瀬川鉄道橋・道路橋緊急対策事業の推進**  
 ~洪水疎通能力上ネックとなっている橋梁の架替に重点投資~  
 黒瀬川水系黒瀬川（富山県黒部市）

1. 事業の概要

1) 目的

黒瀬川は昭和54年度に河川改修事業に着手し、JR北陸本線橋下流のL=2,300mを河積拡幅等の整備を進めてきました。その結果JR橋下流部については概成し、治水安全度の向上が図られているのに対して、JR橋及び県道橋は依然として河積狭小のままとなっているため、これに起因する浸水被害が発生しています。（平成10年7月洪水 床上4戸、床下12戸の浸水被害）

この橋梁によるネック地点を早急に改修し、引き続き黒瀬川の上流部の河川改修が進められるように、本事業でJR橋と県道橋の架け替えを推進します。

2) 全体計画

事業期間：平成15年度～平成21年度

全体計画：鉄道橋、道路橋の架替え

2. 事業の経緯

平成15年度「鉄道橋・道路橋緊急対策事業」に採択され、事業着手。

平成16年度 JR橋及び県道橋の詳細設計及び用地補償を実施。

3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、JR橋の架替えに着手します。



H10.7洪水 県道橋より上流を臨む

# 柳谷上流砂防えん堤群の整備推進

～ 先端技術を駆使した完全無人化施工 ～

( 石川県石川郡白峰村 )

## 1 . 事業の概要

### 1 ) 目的

柳谷<sup>やなぎだに</sup>第3号及び第6号砂防えん堤は、手取川最上流部の柳谷に位置し、白山砂防の足元を押さえる基幹えん堤です。

平成8年の出水により、これらの砂防えん堤が倒壊する危険性が生じたことから、このえん堤の補強を行い、上流側の河床堆積土砂の安定化を図ることを目的としてえん堤下流側において導流<sup>どうりゅう</sup>落差工<sup>うらくさこう</sup>及び既設えん堤嵩上げ工を実施します。

工事箇所は急峻かつ狭隘<sup>きょうあい</sup>な河床内であり、土石流、落石の危険性が大きく、万一の非常時における避難時間の確保が非常に困難な現場であるため、河床内での作業は完全無人化による工法を採用し、工事中の安全確保を図ります。

### 2 ) 全体計画

事業計画：導流落差工、えん堤嵩上げ工、護岸工等

## 2 . 事業の経緯

平成8年災害で柳谷第3号砂防えん堤の副えん堤及び第6号えん堤の左岸側流出。

平成8年度及び10年度に柳谷3号から6号えん堤間を災害復旧。

平成11年度より水叩き形式の落差工（全体計画11段）による抜本的対策に着手。

平成14年度 日本初の大型無人クレーン無人化技術開発に着手。

平成15年度 無人クレーン（ラフテレーンクレーン50t吊）が完成し落石等崩壊の危険性が高い左岸側の工事に着手

平成16年度末進捗予定 柳谷第21、22号えん堤嵩上げ、導流落差工の進捗

## 3 . 平成17年度の要求内容

昨年に引き続き危険性が高い左岸側の施工を、無人クレーンを使用して工事の進捗を図ります。



大型無人クレーンの作業状況

柳谷上流砂防えん堤群

かけはしがわ  
**梯川重点区間改修事業の促進**  
～大規模引堤による治水安全度の向上～  
梯川水系梯川（石川県小松市）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。

このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～6.0km迄（前川合流点～白江大橋間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

### 2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、附带施設改築、分水路整備 等

## 2. 事業の経緯

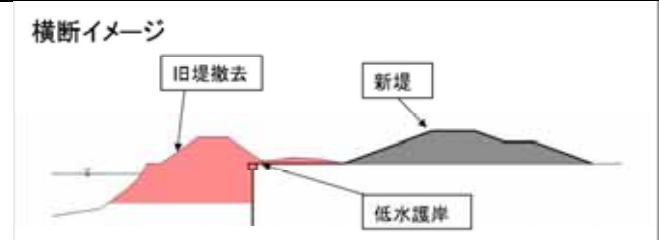
平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しています。平成16年度は用地補償、九竜橋川排水機場（附带施設）の改築等を推進する予定です。

## 3. 平成17年度の要求内容

引き続き、重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、用地買収、九竜橋川排水機場等（附带施設）の改築等を促進します。



新堤防築堤後、一定期間後に旧堤は撤去し川幅を広げます。



# 直轄石川海岸（小松工区）の事業推進 ～安全で快適な海岸の保全と創出～ 石川海岸（石川県小松市・加賀市）

## 1．事業の概要

### 1) 目的

小松海岸、片山津海岸は石川県の小松市、加賀市にわたる海岸で、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。

そのため、小松海岸、片山津海岸を平成16年6月に直轄石川海岸の区間として延伸、平成16年度より直轄工事に着手し、抜本的な侵食対策を行っています。

### 2) 全体計画（小松工区）

人工リーフ15基、養浜475,000m<sup>3</sup>

## 2．事業の経緯

平成16年度より直轄による海岸保全施設整備に着手し、小松工区において1基目の人工リーフに着手しています。

## 3．平成17年度の要求内容

平成17年度は小松工区において1基目の人工リーフの進捗を図ります。



小松海岸での被災状況（平成12年1月）



片山津海岸での越波状況（平成14年1月）



小松海岸陥没状況（平成16年1月）



# 横川ダム 本体工事を推進

やまがたけんにしおきたまぐん おくにまち  
(山形県西置賜郡小国町)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

洪水調節

(ダム地点の基本高水流量 880m<sup>3</sup>/s のうち、570 m<sup>3</sup>/s の洪水調節を行う。)

河川環境の保全のための流量確保

(ダム地点下流横川及び荒川沿川の既得取水の安定化等のための流量を確保する。)

工業用水の供給

(小国町に対し、最大 7,000 m<sup>3</sup>/日の工業用水を供給する。)

発電

(横川ダムの建設に伴い、新設される横川発電所において、最大出力 6,300kw の発電を行う。)

### 2) ダム諸元

ダム形式：重力式コンクリートダム

ダム高：72.5m

堤体積：約 25 万 m<sup>3</sup>

総貯水容量：2,460 万 m<sup>3</sup>

## 2. 事業の経緯

昭和 62 年度	実施計画調査着手
平成 2 年度	建設事業着手
平成 3 年 3 月	基本計画告示
平成 3 年 12 月	補償基準妥結
平成 13 年 11 月	付替道路の主要地方道川西小国線供用
平成 15 年 3 月	横川ダム本体建設第一期工事発注
平成 16 年 6 月	横川ダム本体コンクリート初打設

## 3. 平成 17 年度の要求内容

ダム本体コンクリート打設を引き続き実施し、ダム本体工事の進捗を図るとともに、放流設備関係の整備を推進します。



ダム本体コンクリート打設中の横川ダムサイト  
(上流からダムサイトを望む：平成 16 年 7 月撮影)

# 阿賀川下流狭窄部改修を推進 ～穏やかな流れへのプロジェクト～ 阿賀野川水系阿賀川（福島県河沼郡会津坂下町）

## 1．事業の概要

### 1) 目的

阿賀川下流の狭窄部は、川幅が狭く流下能力が少ないため、古くから会津盆地の水害の原因ともなっており、昭和57年9月の戦後最大規模の洪水では、沿川に大きな被害をもたらしました。

そのため、昭和58年から阿賀川下流狭窄部改修事業に着手し、平成10年度に泡の巻地区改修を完成し、引き続き津尻地区の河道掘削に着手しています。

### 2) 全体計画

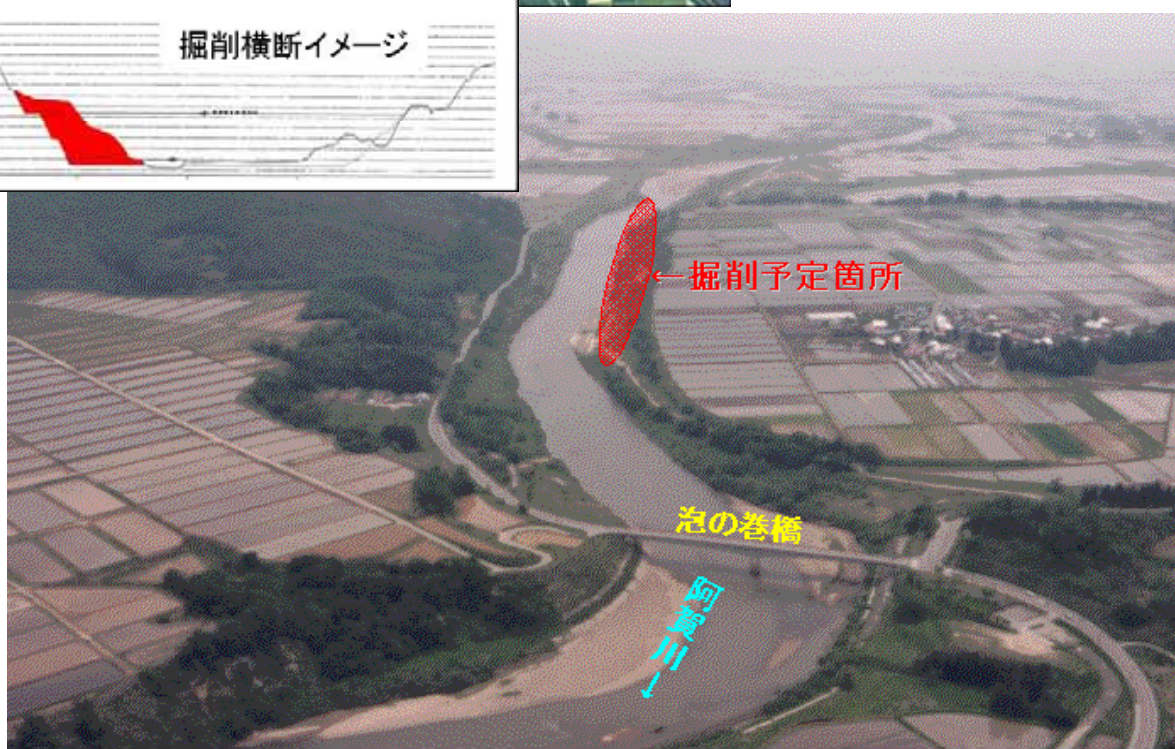
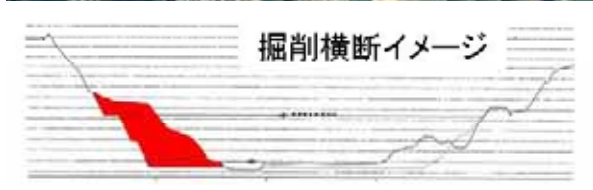
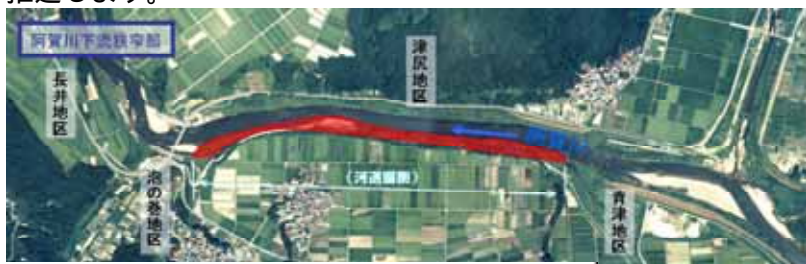
河道掘削 約630千m<sup>3</sup>、護岸 約5千m<sup>2</sup> 等

## 2．事業の経緯

平成10年度に泡の巻地区改修事業を完成し、引き続き平成11年度より津尻地区の改修に着手しています。平成16年度末までに河道掘削約250千m<sup>3</sup>を実施します。

## 3．平成17年度の要求内容

平成17年度は、引き続き会津坂下町津尻地先において河道掘削を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



# 滝坂地すべり対策事業の推進

## ～ 大規模地すべりから阿賀野川流域を守る！～ ( 福島県耶麻郡西会津町 )

### 1 . 事業の概要

#### 1 ) 目的

阿賀野川水系阿賀川に接する滝坂地すべりは、面積約150ha、推定地すべり移動土塊量約4800万 $m^3$ であり、日本有数の大規模地すべりです。地すべり活動が活発化すると、その移動土砂が阿賀川を閉塞し、沿川に浸水被害などをもたらす懸念があるため、阿賀野川流域の治水上重要な箇所となっています。

このため、平成8年度より直轄事業として着手し、地すべりを発生させる誘因である地下水を排除する集水井等の整備を進めています。

#### 2 ) 全体計画

事業計画：排水トンネル、集水井、排水ボ-リング、集水ボ-リング等

### 2 . 事業の経緯

平成8年度 直轄事業として着手

平成11年度 下沢の目集水井群対策完了

平成14年度 大石出口集水井群対策完了

平成16年度未進捗予定 集水井工1基、抑止杭、集水ボ-リング等

### 3 . 平成17年度の要求内容

滝坂地区北部ブロック対策において優先度の高い松坂地区の対策を促進します。また、地すべり移動を観測する光ファイバーセンサーやGPS観測機器等のIT情報基盤整備によるソフト対策を推進します。



滝坂地すべりを上空より望む



GPS観測装置

# 立ヶ花下流部無堤地区対策を推進 ～無堤地区の解消に向けて事業推進～ 信濃川水系千曲川（長野県中野市、豊田村）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

千曲川の立ヶ花下流部は川幅が狭く、無堤・弱小堤が連続しており洪水を安全に流すことができないため、昭和56年、57年、58年と連続した大出水のときは大きな浸水被害が生じました。

そのため、昭和56年、57年、58年の洪水を安全に流すことを目的に、無堤地区対策を計画的に実施しています。

### 2) 全体計画

中野市柳沢地先：築堤 約800m、樋管改築 1基 等

豊田村替佐地先：築堤 約2,000m、樋管改築 4基 等

## 2. 事業の経緯

整備にあたっては、浸水被害の多い家屋連担箇所を中心に築堤を実施してきており、全体12箇所のうち平成15年度までに6箇所が概成しています。

中野市柳沢地先については平成14年度に着手し、用地買収を実施しています。また、豊田村替佐地先については平成10年度に着手し、用地買収や築堤等を推進しており、平成16年度末までに築堤約250mを実施する予定です。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、引き続き中野市柳沢地先と豊田村替佐地先において用地補償及び築堤を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



中野市  
柳沢地先  
S58出水 浸水状況



豊田村  
替佐地先  
S58出水 浸水状況

どどがわひもん  
**百々川樋門改築の推進**  
～ 老朽化施設の解消及び治水安全度の向上～  
信濃川水系千曲川（長野県須坂市）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

千曲川と支川八木沢川の合流点に設置されている百々川樋門は、昭和9年の設置以降、約70年が経過し、樋門本体のクラックの発生や鉄筋の露出等、老朽化が著しく進行しています。また、長野県が実施中の八木沢川改修の計画流量70m<sup>3</sup>/sに対して現況の樋門の流下能力は14m<sup>3</sup>/sで不足していません。こうしたことから、老朽化施設の解消と流下能力の向上を図ることを目的として、百々川樋門の改築に着手しています。

### 2) 全体計画

樋門改築 1基 等

## 2. 事業の経緯

平成16年度より「特定構造物改築事業」に採択され改築事業に着手しており、現在用地買収を実施しています。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、引き続き用地取得を推進します。



老朽化が進んでいる百々川樋門

# 観光振興に資する平湯川砂防樹林帯の整備推進

## ～みどりを活用した砂防事業の推進～

(岐阜県吉城郡上宝村)

### 1. 事業の目的

#### 1) 目的

砂防樹林帯は、川の中にある樹木の力により、洪水の時土砂が流れないように、また上流から流れてきた土砂を止めることを目的として計画します。

平湯川も、この良好な自然の木々をそのまま樹林帯として取り込み、現在の自然をできるだけ変えないで、上流の「しのぶ砂防えん堤」と一体となった、自然環境を生かした砂防施設として整備するものです。

現在の堤防では、大洪水の際には土砂が堆積して、下図のように、あふれてしまいます。そこで、現在の堤防の背後に新しく導流堤を建設し、河幅を広げます。

#### 2) 全体計画

事業計画：流路延長1500m、床固工、帯工、導流堤

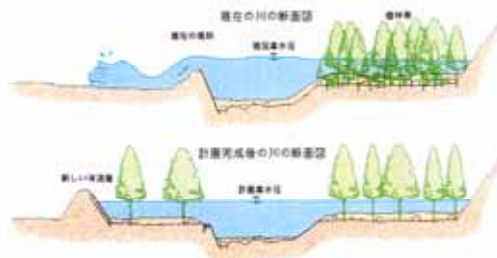
### 2. 事業の経緯

平成10年度 事業着手

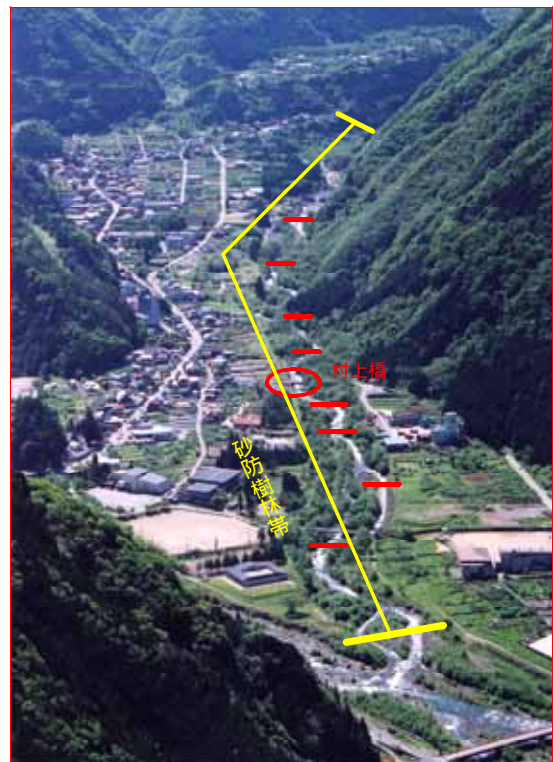
平成16年度末進捗予定

### 3. 平成17年度の要求内容

- ・帯工2基、導流堤、橋梁架替



計画完成後の断面図



平湯川樹林帯計画箇所



昭和33年7月災害 村上橋流出

# 一般国道116号 がっこうちょう 学校町交差点改良の完成供用 新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

学校町交差点改良は、一般国道116号の新潟市学 がっこうちょうどおり 校町通地内における線形不良区間の解消及び交通渋滞の緩和を目的とした延長約0.4kmの事業です。

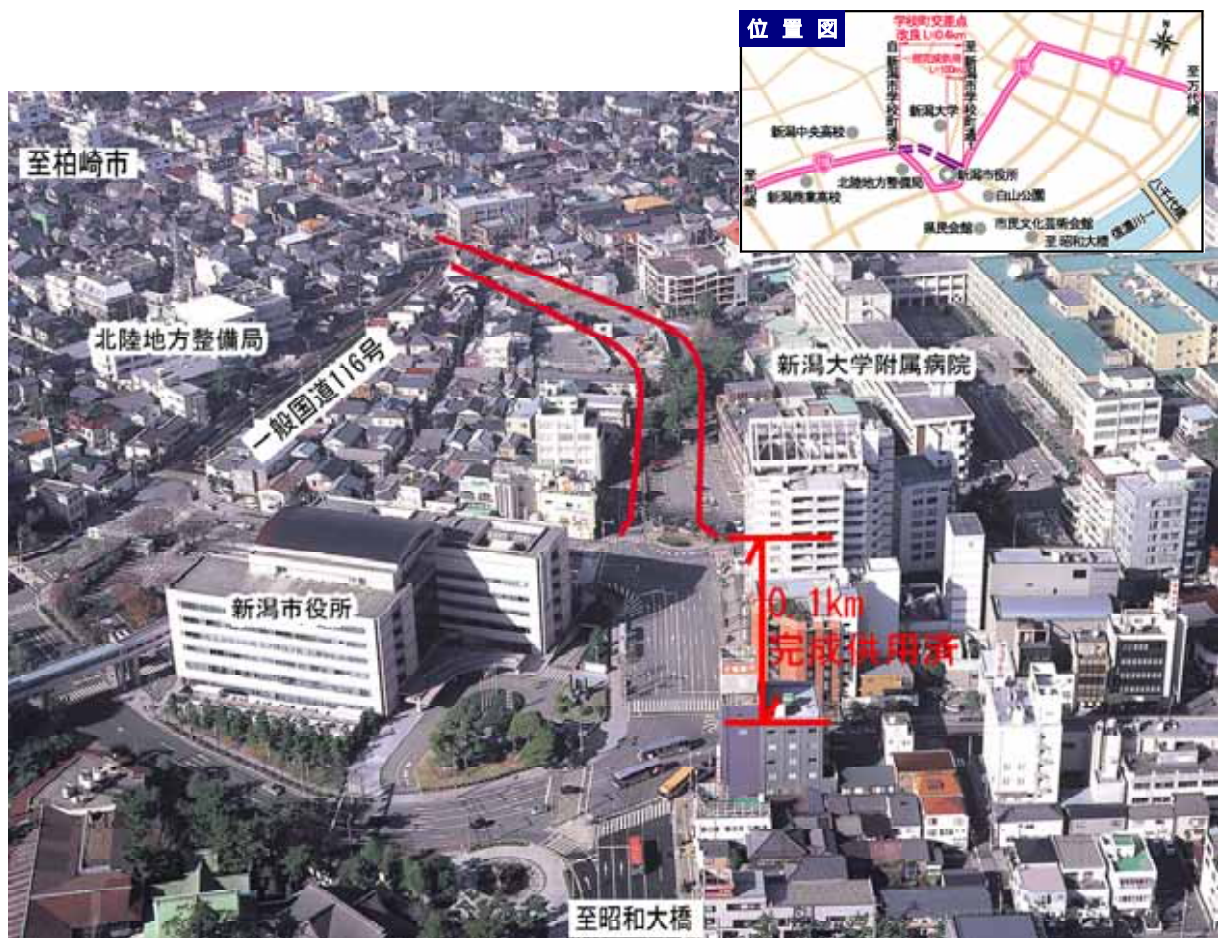
## 2. 事業の経緯

本事業は、昭和63年度に事業着手し、平成元年度に用地買収及び工事着手しており、これまでに延長約0.1kmについて、完成4車線で供用しています。

## 3. 平成17年度の実施内容

平成17年度は、改良及び舗装工事を推進し、全線完成4車線で供用を開始する予定です。  
当該区間の供用により、曲線半径 $R = 50\text{m}$ となっている線形不良箇所の解消や交通渋滞の緩和、年間9件も発生していた交通事故の縮減などが期待されます。

: H15年データ



平成17年度全線供用に向け整備の進む学校町交差点改良事業

# 事故危険箇所対策の推進

## 一般国道8号 下源入交差点改良

### 新潟県上越市

#### 1. 事業の概要

下源入交差点改良は、一般国道18号から一般国道8号の富山方面への左折導流部（常時左折）において追突事故が多発しているため、一般国道8号への左折加速車線の整備により事故の軽減を目的とした、延長約0.4kmの事業です。

本箇所は、平成15年7月に「事故危険箇所」に指定されています。

#### 2. 事業の経緯

本事業は、平成15年度に事業着手し、設計協議、関係機関との協議を行っています。

#### 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、工事に着手し事業の完成を目指します。

当該交差点の改良により、年平均6件も発生していた死傷事故の縮減が期待できます。

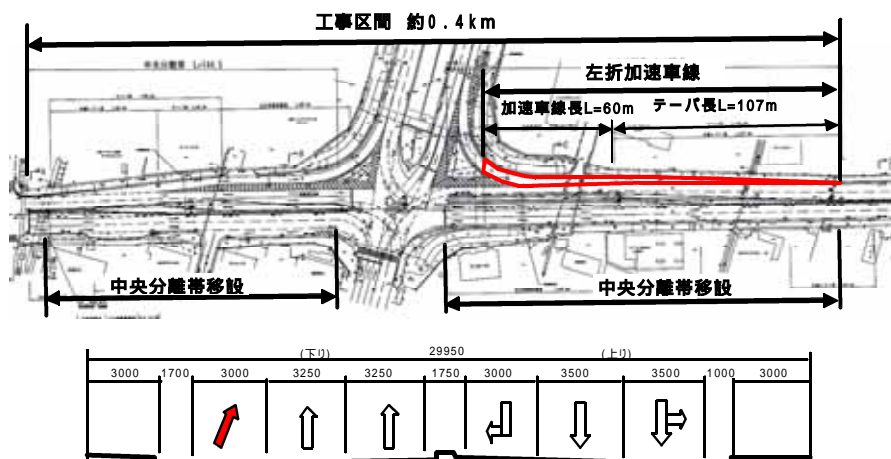
#### 【現況】



位置図



#### 【計画】



左折加速車線を整備



# 新潟港海岸（西海岸地区）の整備推進

新潟港海岸：新潟県新潟市

## 1．事業の概要

新潟港海岸（西海岸地区）は、著しい侵食傾向にある海岸であったことから侵食対策工事が行われてきました。しかし、日本海側特有の冬季波浪により施設前面の海底が侵食され崩壊の危険があったことから、恒久的な対策と併せて快適で潤いのある海岸環境の創出が可能となる「面的防護工法」により整備を行っています。

## 2．事業の経緯

新潟港海岸（西海岸地区）は、大規模な面的防護工法の先駆として昭和61年度より直轄による侵食対策事業に着手して以来、「国土保全」という観点から着々と整備が進んでいます。一方、市民からは過去に失われた白砂青松を蘇らせて、「憩いの場としての海岸」を創出することへ強い要望があることから、「ふるさと海岸整備事業」として快適な海岸空間の創出に向けて事業を進めており、平成28年度の完成を目指しています。

## 3．平成17年度の要求内容

突堤・離岸堤(潜堤)および護岸(養浜)の整備推進を図ります。



新潟港海岸（西海岸地区）イメージパース

# 耐震強化岸壁（旅客船ターミナル）の整備推進

七尾港：石川県七尾市

## 1．事業の概要

大規模地震発生時における緊急物流機能の確保や住民の避難、緊急物資輸送に対処するために既存施設の耐震化を行い、併せて観光やレクリエーションの拠点とするため旅客船ターミナル(水深 7.5m)として整備を行います。

## 2．事業の経緯

平成 7 年度に事業に着手し、整備しているものです。

## 3．平成 17 年度の要求内容

平成 16 年度に引き続き、鋼管杭工、本体工及び上部工の施工を進め、整備推進を図ります。



七尾港旅客船ターミナル イメージパース

# 福井港海岸（福井地区）の整備推進

福井港海岸：福井県福井市

福井県坂井郡三国町

## 1. 事業の概要

福井港海岸では既存護岸前面で侵食が生じており、さらに日本海特有の冬季風浪とも相俟って、護岸前面消波ブロックの飛散による被災、越波による被災及び護岸背後水叩きの陥没被災が続いています。

このため、国民の生命・財産を守り国土保全を図ることを目的として、国による海岸保全施設の整備を行っています。

## 2. 事業の経緯

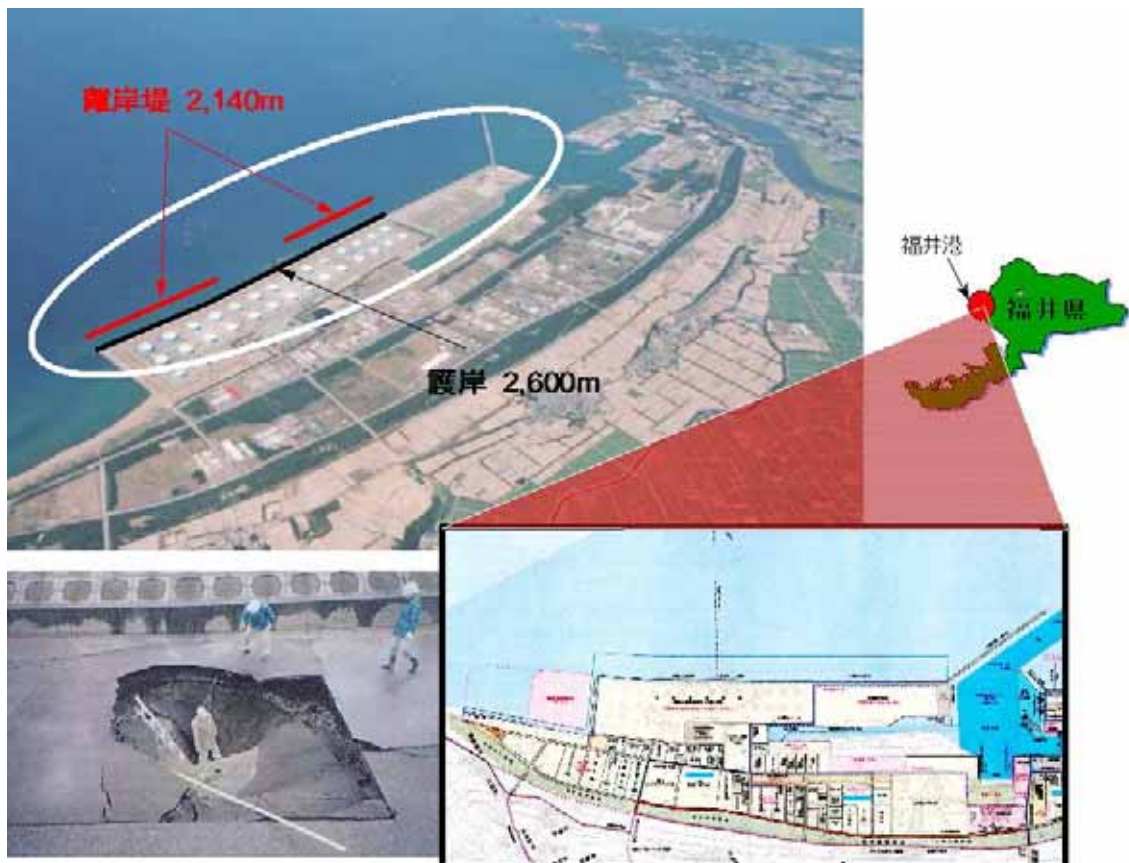
平成16年度 直轄事業着手（調査・設計）

平成17年度 工事着手予定

平成29年度 工事完成予定

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は、既設護岸の改良及び離岸堤の整備推進を図ります。



# 耐震強化岸壁の整備推進

敦賀港：福井県敦賀市

## 1. 事業の概要

大規模地震発生時における緊急物資輸送、緊急物流機能の確保に対処するために、敦賀市の市街地からのアクセスが容易であり、避難地として利用できる金ヶ崎緑地に隣接する蓬萊・桜地区の既設岸壁(-5.5m)の耐震化を図ります。

## 2. 事業の経緯

平成 16 年度より事業着手(土質調査、設計等)、平成 18 年度の完成を目指しています。

## 3. 平成 17 年度の要求内容

引き続き岸壁の整備推進を図ります。



敦賀港の現況(平成 15 年 10 月撮影)

# 敦賀港海岸（松原地区）の整備推進

敦賀港：福井県敦賀市

## 1. 事業の概要

松原海岸は「気比の松原」として日本三大松原の一つに数えられている国の名勝地であり、昔ながらの日本の海岸を代表する白砂青松の風景を呈していますが、昭和30年頃より海浜が侵食されはじめ、昭和52年頃までに最大約15mの汀線後退を見せしており、早急な侵食対策が望まれていました。

## 2. 事業の経緯

平成6年度より「自然豊かな海と森の整備事業（白砂青松）」として離岸堤、養浜等による面的防護工法により砂浜の復元を図ると共に、背後の国有林と一体となった利用しやすい海水浴場とすることを旨として整備を行っています。

また、当該地区は景勝地となっていることから「エコ・コースト事業」により風景を壊すことなく景観に配慮した整備を行っています。

## 3. 平成17年度の要求内容

平成17年度は養浜を整備し、事業推進を図ります。



敦賀港海岸（松原地区）の現況

とよさか  
**豊栄市の新しい玄関口として良好な都市環境を創出**  
 豊栄インター南土地区画整理事業の補助完了（新潟県豊栄市）

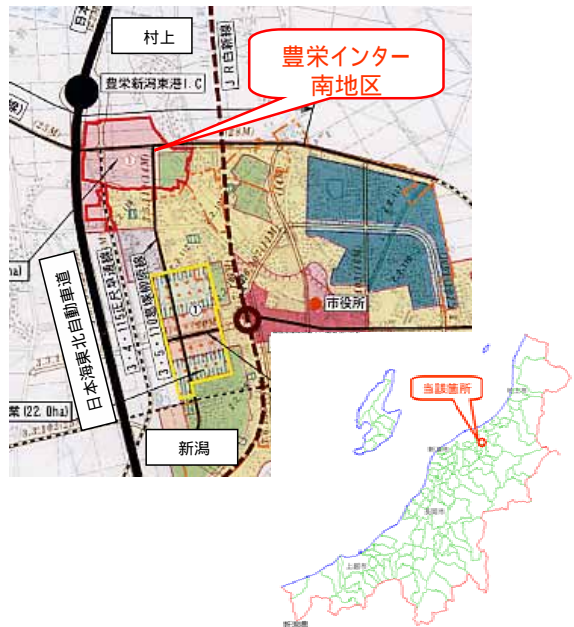
1. 事業の概要

本地区は、日本海東北自動車道 豊栄新潟東港 I.C に隣接する広域ネットワークへのアクセスが至便な地区であり、豊栄市マスタープラン及び第四次総合計画において、一般国道7号新新バイパスや日本海東北自動車道などへのアクセス幹線である新潟大外環状線を発展軸とする、商業集積を図る地区に位置づけられています。

このため、豊栄市の玄関口にふさわしい商業地及び住宅地としての良好な都市環境を創出するため、公共施設の整備改善を図ります。

2. 事業の経緯

- 平成2年度 まちづくり基本調査
- 平成7年度 区画整理事業調査
- 平成12年2月29日  
都市計画決定（告示日）
- 平成13年2月13日  
事業計画決定（公告日）
- 平成13年11月21日  
当初実施計画承認
- 平成13年4月25日 本工事着工



3. 平成17年度の要求内容

大手スーパーの開店を契機に、保留地の分譲販売を促進しており、平成17年度には都市計画道路正尺早通線の道路築造、舗装、公園の外柵・植樹等の整備を推進し、補助事業の完了を目指します。



# 中越地域の下水道汚泥を効率的に処理 ～中越地域広域汚泥処理事業(長岡処理区)推進～ 信濃川下流流域下水道事業(新潟県)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

近年の下水道整備の進捗に伴い、増加する下水汚泥の安定した処理処分を図るため、焼却等による減量化や建設資材化等による有効利用が必須となっています。

新潟県でも中越地区 11 市町村において汚泥を乾燥しセメント原料としてリサイクルする流域下水汚泥処理事業に取り組んでいます。

### 2) 全体計画

- ・参加市町村数 11 市町村
- ・計画汚泥量 18,478 t (H30年度末予測)
- ・処理方式 乾燥(予定)
- ・全体計画 乾燥炉(70 t / 日) × 1 基

## 2. 事業の経緯

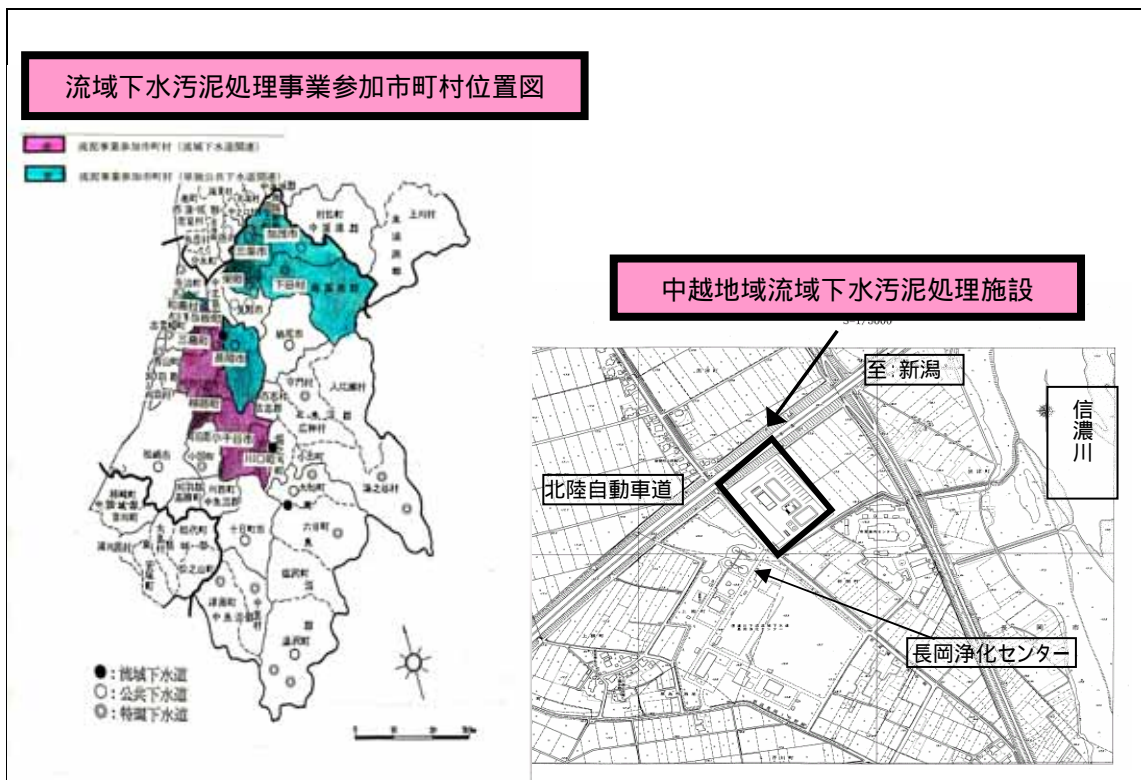
平成 16 年度より用地買収着手。

平成 17 年度より施設整備に着手。

平成 19 年度供用予定。

## 3. 平成 17 年度の要求内容

平成 17 年度は、汚泥処理施設の整備に着手します。



# 誰もが安心して暮らせる居住環境の整備

～人に優しい地域に開かれた団地づくり～

まちづくり交付金水橋中村地区（富山県富山市水橋中村町）

## 1．事業の概要

狭小で老朽化した既設公営住宅の建替に伴い、居住水準の向上、住戸のバリアフリー化を図るとともに、地域開放型の児童遊園、緑地、集会所、さらに民間事業者によるデイサービスセンターを併設することにより高齢者や障害者に優しく、周辺住民にも開かれた良好な居住環境の形成を推進します。

### <事業計画>

事業年度：平成16年度～平成20年度

整備内容：公営住宅 86戸（RC 中層耐火4階建て2棟）  
集会所、高齢者生活相談所、居住環境形成施設

## 2．事業の経緯

平成16年度 新規事業採択

## 3．平成17年度の要求内容

公営住宅の整備により高齢者向けシルバーハウジングや身障者向け住戸を供給するとともに、地域の社会福祉活動にも寄与する集会所、高齢者生活相談所、居住環境形成施設の整備を行います。



【整備前】



【整備後】



# 新潟第2地方合同庁舎

## - 防災拠点施設の整備の推進 -

### 1. 事業の概要

新潟市内にある国の機関の多くが昭和39年の新潟地震の直後に建設されたため、現在では建設後30年以上経過し、老朽化がそれぞれの施設で同時に進行しています。また、行政需要の変化、増大によって狭隘化が進んでおり、北陸の中核都市の一つである新潟市の市内各官署の行政サービスの低下は、より広域的なものとなります。

この問題を解決し、さらに、集約・合同化による各官署間の連携強化、行政サービスの向上、災害時の災害対策の連携と迅速化を図るとともに、近接する県庁・業務施設・商業施設と一体となった複合的な都市拠点の形成に資することにより、まちづくりに寄与する官庁施設整備を目指し、新潟第2地方合同庁舎の新営を実施します。

### 2. 事業の経緯

平成8～11年度 用地取得  
平成13年度 全体配置計画・A棟設計に着手  
平成14年度 A棟工事着手  
平成17年9月 A棟完成予定

### 3. 平成17年度の要求内容

新潟第2地方合同庁舎は全体で5棟の庁舎からなっており、このうち北陸地方整備局及び新潟地方法務局バックアップセンターが入居するA棟について、引き続き工事を推進し、完成させます。

敷地面積 約55,000m<sup>2</sup>  
構造・規模 SRC-8(免震構造) 約16,400m<sup>2</sup>



新潟第2地方合同庁舎A棟完成予想図